

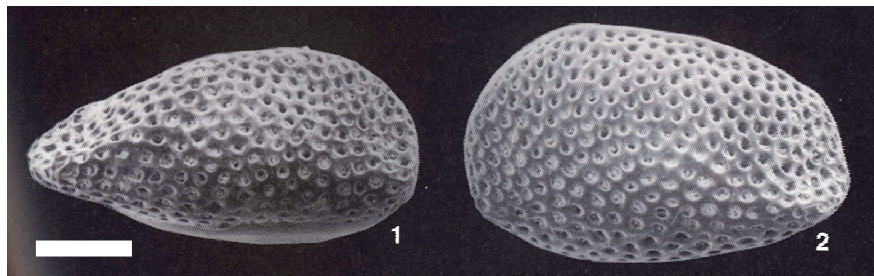
氏名：田吹亮一

専門分野：地質学および古生物学

主要担当授業科目：基礎地学 II、地史古生物学、基礎地学実験 I、
地質・古生物学演習（以上、専任）入門地学、自然科学概論、
自然環境フィールドワーク I・II、理科野外実習（以上、分担）

研究キーワード：貝形虫、貝形虫化石、琉球列島、サンゴ礁、海底洞窟、更新統、
知念層、堆積環境

研究内容：（1）琉球列島周辺海域の現生貝形虫の分類と生態分布：主に浅海域、
特に、サンゴ礁海域を中心に、貝形虫タクサと水温、水深、底質等の環境要因と
の関係について研究している。具体的な調査海域として、西表島・石垣島間の
サンゴ礁（石西礁）、瀬底島沖のサンゴ礁等が挙げられる。
（2）海底洞窟に固有の貝形虫の進化：太平洋、大西洋のサンゴ礁海域の海底洞窟を
調査対象として、‘生きた化石’の Sigillidae（科）貝形虫に代表される、海底洞
窟に固有の貝形虫の進化について研究している。
（3）沖縄島中南部に分布する知念層（更新統）と上下位層の層序と堆積環境：琉球
列島周辺の浅海域がサンゴ礁環境へと変化する時期に堆積した知念層とその上
下位層を対象として、層序、貝形虫化石群集、堆積環境について研究している。



【海底洞窟に固有の貝形虫属 *Kasella* 1:右殻, 2:左殻 バーは 0.1mm】



【伊計島北西岸に露出する知念層とその上位層】

琉球大学研究者データベース

<http://kenkyushadb.lab.u-ryukyu.ac.jp/profile/ja.sN3yD9N5.vsDvTJuPXusmA==.html>